



**OASE** Operation Autonomy  
Support Engine

クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

# 目次

## 1. はじめに

- 1.1 クイックスタートについて
- 1.2 画面説明\_ログイン
- 1.3 画面説明\_Dashboard
- 1.4 画面説明\_アクション設定
- 1.5 画面説明\_トークン払い出し
- 1.6 画面説明\_ディシジョンテーブル
- 1.7 画面説明\_ルール
- 1.8 画面説明\_リクエスト履歴
- 1.9 画面説明\_アクション履歴

## 2. シナリオ説明

- 2.1 本書のシナリオ

## 3. 事前設定

- 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 3.2 トークンの払い出し
- 3.3 ディシジョンテーブル作成

## 4. 作業実行

- 4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- 4.2 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 4.3 テストリクエスト
- 4.4 プロダクション適用
- 4.5 curlコマンドによるリクエスト送信
- 4.6 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

## 5. 付録

# 1. はじめに

# 1.1 クイックスタートについて (1/3)

## ■ まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE)のインタフェースをスムーズに体感頂くためご用意しましたものとなります。
- OASEではいくつかのソフトウェアと連携が可能ですが、それらの中で設定が簡易であるメールソフトとの連携を体感頂けます。
- また OASEは「監視アダプタによるキック」および「ITAと連動したアクション実行」といった最重要な機能を提供していますが、クイックスタートではスムーズに体感頂くために、敢えてこれらの機能の活用を割愛しています。



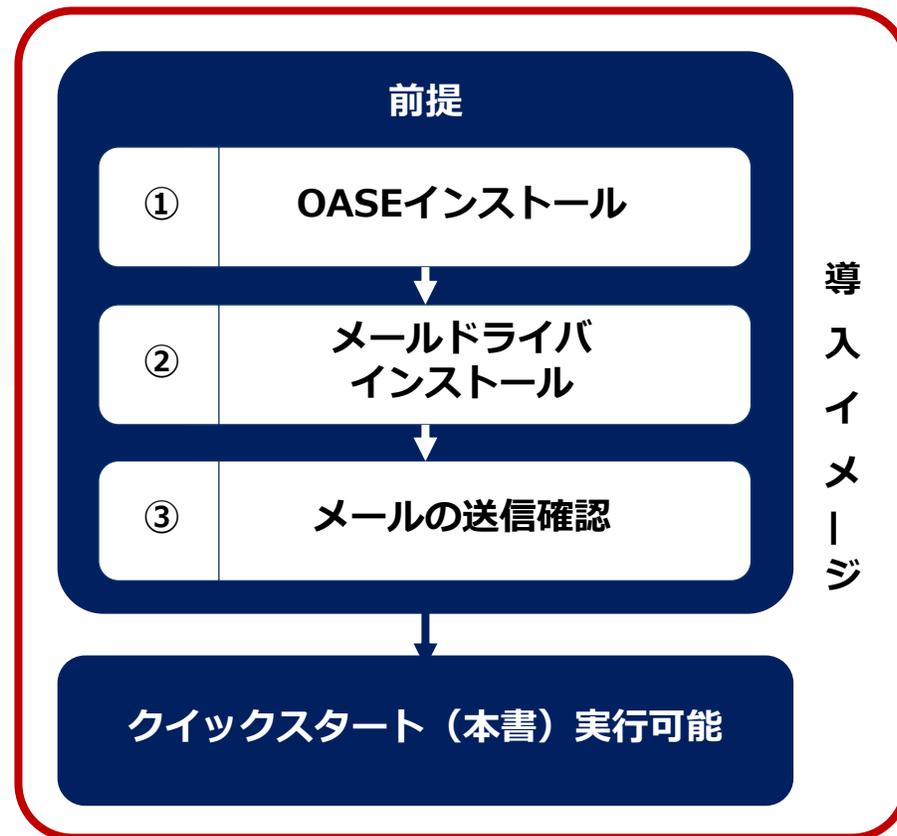
# 1.1 クイックスタートについて (2/3)

## 前提

OASEおよび以下の機能が導入済みであること

- ① OASEインストールについては以下を参照
  - <[OASE docs 環境構築マニュアル -基本編-](#)>
  - <[OASE Learn -OASEを導入しよう オンラインインストール編-](#)>
- ② メールドライバインストールについては以下を参照
  - <[環境構築マニュアル -ドライバインストール編-](#)>
- ③ メールサーバに接続できること
  - 例) mailx によるメール送信の確認

```
# echo "Hello. This is mail body." | mail -s "This is mail title." ¥  
-S smtp=smtp://XXX.XXX.XXX.XXX:YY ¥  
-r from@example.com to@example.com
```



# 1.1 クイックスタートについて (3/3)

## 使用する機能について

- 本書ではOASEの以下機能（画面）を用いる（項番は以降のスライドと紐付く）
  - Dashboard画面

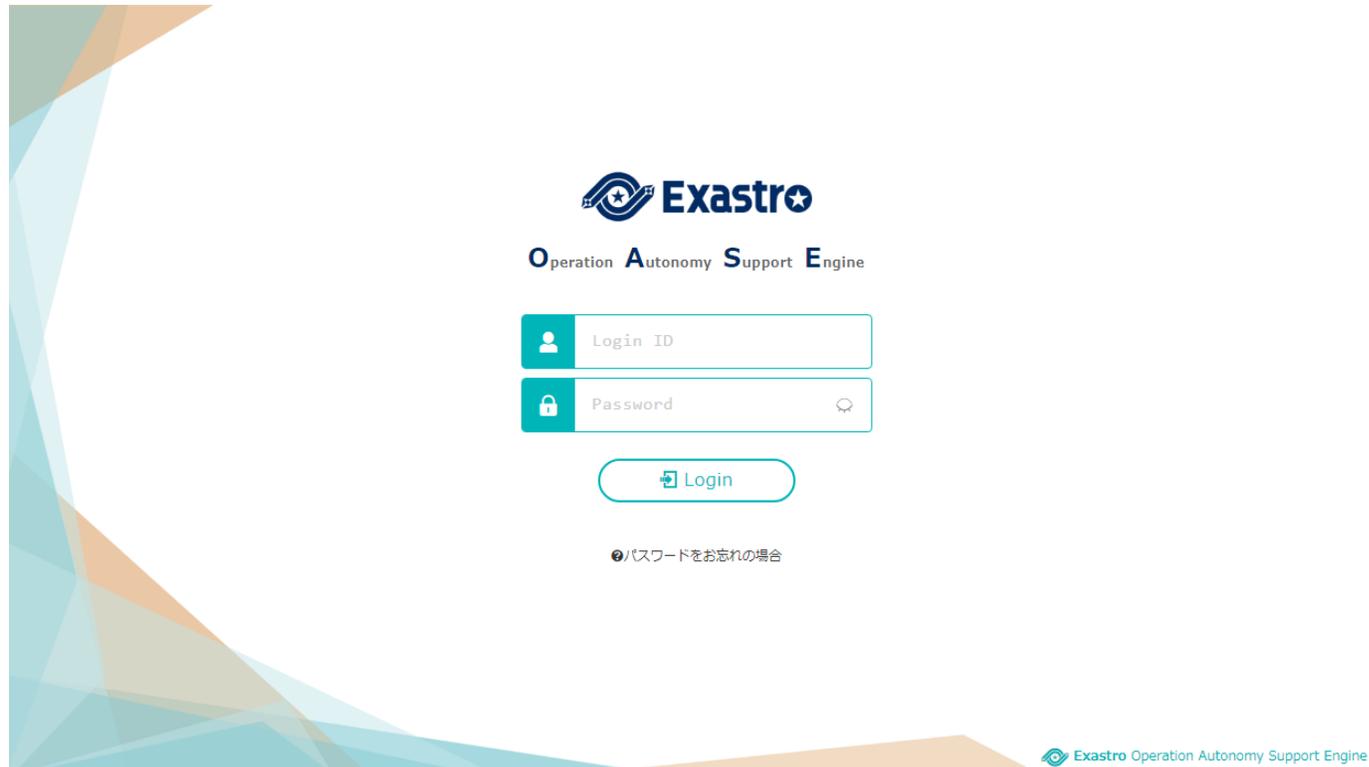


項番	画面名称	画面アクセス
1.2	ログイン	
1.3	Dashboard	Dashboard
1.4	アクション設定	システム > アクション設定 > mail Driver ver1
1.5	トークン払い出し	ルール > トークン払い出し
1.6	ディシジョンテーブル	ルール > ディシジョンテーブル
1.7	ルール	ルール > ルール > ステージング適用ルール
		ルール > ルール > プロダクション適用ルール
1.8	リクエスト履歴	ルール > リクエスト履歴
1.9	アクション履歴	ルール > アクション履歴

## 1.2 画面説明\_ログイン

### OASEログイン

- OASE導入後、以下のURLへアクセスするとログイン画面が表示される  
[https://\[OASEのホスト名 or IPアドレス\]/oase\\_web/top/login](https://[OASEのホスト名 or IPアドレス]/oase_web/top/login)



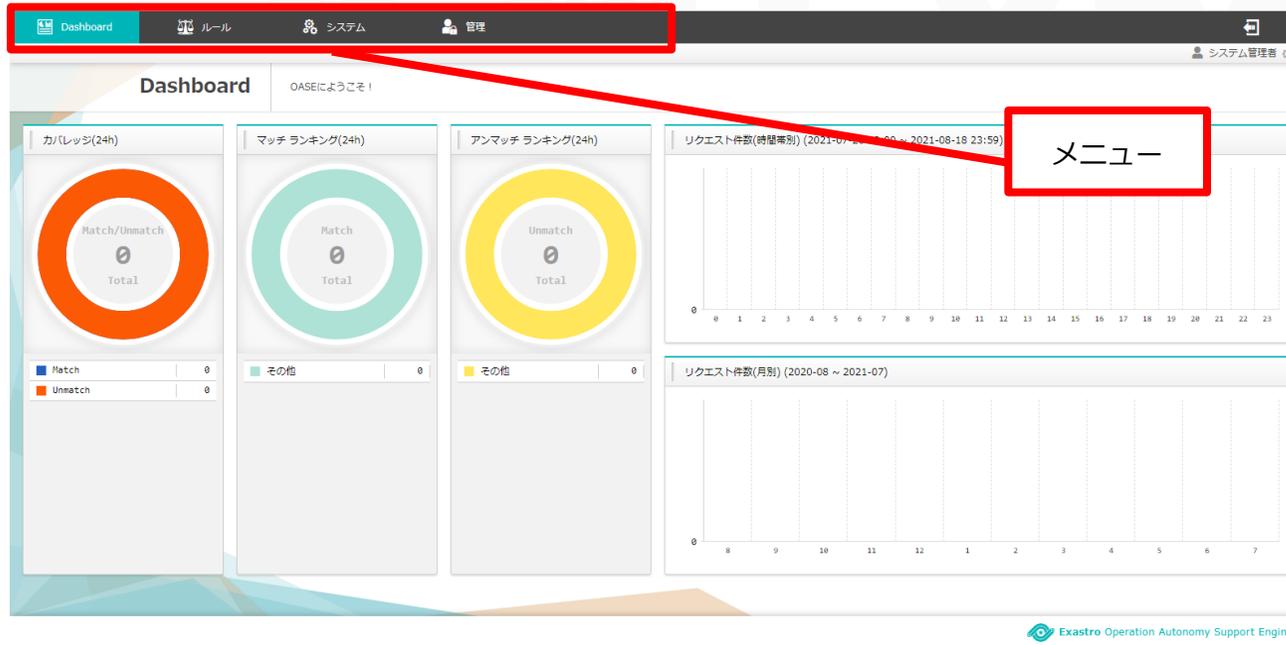
#### POINT

初回ログイン時はログイン直後に  
パスワード変更を求められます

## Dashboard

### 基本的なメニューの概要

- 「ルール」メニュー : ルール作成やアクション結果を管理
- 「システム」メニュー : OASE全般や各種設定・権限を管理
- 「管理」メニュー : セキュリティ関連を管理



### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

# 1.4 画面説明\_アクション設定

システム > アクション設定 > mail Driver ver1

## 機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報の一覧
- ③ インストール済のドライバにアクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

アクション設定

ITA Driver ver1 mail Driver ver1 ①

mail Driver ver1

+ アクション先の追加 ③

メールテンプレート ④

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
🔍	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
🔍	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47 ②
🔍	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
🔍	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

# 1.5 画面説明\_トークン払い出し

## ルール > トークン払い出し

### 機能説明

- ① OASEに登録済みのトークンの一覧
- ② 新規にトークンを作成するボタン

Dashboard ルール システム 管理 システム管理者

### トークン払い出し

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	test_token	2021年 05月 19日 10:14		システム管理者	2021年 05月 19日 10:14

件数 1 表示する件数 50 1 / 1

Exastro Operation Autonomy Support Engine

### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

# 1.6 画面説明\_ディシジョンテーブル

## ルール > ディシジョンテーブル

### 機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブルの一覧
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48
	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

## 1.7 画面説明\_ルール (1/2)

### ルール > ルール > ステージング適用ルール

#### 機能説明

- ① ディジションテーブルファイル进行操作するボタン
- ② アップロードしたディジションテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン

Dashboard ルール システム 管理 システム管理者

ステージング適用ルール

①  デストリクエスト  過去を含め表示 OFF

操作	ディジションテーブル名	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
<input checked="" type="checkbox"/>	test_o3	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
<input type="checkbox"/>	test_o2	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
<input type="checkbox"/>	test_o1	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
<input type="checkbox"/>	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

表示する件数 50 1 / 1

プロダクション適用ルール

#### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

①でディジションテーブルファイルをステージング環境にアップロードしデストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合（②のステータス次第）、③の適用ボタンが有効になる。

# 1.7 画面説明\_ルール (2/2)

## ルール > ルール > プロダクション適用ルール

### 機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき実際に運用されることが決定したルールの一覧

The screenshot shows the 'Production Application Rules' section of the Exastro interface. A red box highlights the 'test' rule, which is the only rule listed in this section. The rule is in the 'Production Application' status and has a 'Production Application Completed' operation status. A circled '1' is placed above the table to indicate this is the rule of interest.

操作	ディクショナリ名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test	mail_test.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48



**POINT**

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

## ルール > リクエスト履歴

### 機能説明

#### ① マッチしたルールとそのステータス一覧

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディビジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
✓	ステージング環境	test_03	2021年5月24日19:14	{"EVENT_INFO":["300"]}	2021年5月24日19:14	TOS_20210524101433062191_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月24日11:50	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210524025052939350_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:59	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521095902622695_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:45	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521094554755966_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:39	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521093935582732_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO":["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000000

### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

## ルール > アクション履歴

### 機能説明

#### ① マッチしたルールとそのステータス一覧

状態	操作	ディビジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバープロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバープロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバープロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:39	アクションドライバープロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 17:32	アクションドライバープロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 16:12	アクションドライバープロセス

### POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

## 2. シナリオ説明

## 2.1 本書のシナリオ

OASEインストール後からアクション履歴が詰まれるまでのシナリオ

### 【事前設定】

各種設定

1

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

2

トークンの払い出し

3

ディビジョンテーブル作成

4

ディビジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

5

ディビジョンテーブルファイルのアップロード

6

テストリクエスト

7

プロダクション適用

8

curlコマンドによるリクエスト送信

9

アクション実行結果の確認

### 【作業実行】

ルールの作成・登録

メッセージ投入し  
ルールマッチング  
および  
アクションの実行

### 3. 事前設定

# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

## アクション先の追加

- ① 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下
- ② 「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択



メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

- トークンの払い出し
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- ディビジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

**POINT**

事前に<[環境構築マニュアル - ドライバインストール編](#)>を参照のうえメールドライバをインストールしてください。

※ドライバをインストールしていない場合、上記の画面は表示されません。

# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

## アクション先の設定

- ① 「mail Driver ver1」画面の必要情報を入力
- ② 「保存」ボタンを押下

1 以下の値を入力する

項目	設定値
名前	(任意の文字列)
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
SMTPサーバ	(プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること)
ポート	(通信に用いるポート番号を入力)
ユーザ名	(空白可、メールの送信元となるユーザ名を入力)
パスワード	(空白可、認証に必要なパスワードを入力)

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

- トークンの払い出し
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- ディビジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

### POINT

「名前」は後述する<[4.1 ディビジョンテーブルファイル作成](#)>時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために必要です。

### POINT

「ユーザ名」はメールの送信元として表示されます。

### POINT

\* のつく項目は入力必須です。

# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

## メールテンプレートの作成

- ① 「メールテンプレート」 ボタンを押下
- ② 「新規追加」 ボタンを押下
- ③ 「メールテンプレート新規追加」 画面で必要情報を入力
- ④ 「保存」 ボタンを押下

以下の値を入力する

項目	設定値
テンプレート名	(任意の文字列)
宛先	(空白可、任意の文字列)
CC	(空白可、任意の文字列)
BCC	(空白可、任意の文字列)
件名	(任意の文字列)
本文	(任意の文字列)

**POINT**

「テンプレート名」は、後述する<[4.1 ディジジョンテーブルファイル作成](#)>時に、どのメールテンプレートを使用するか指定するために必要です。

「本文」に[`ACTION_INFO`] および[`EVENT_INFO`]タグを使用することで、「リクエスト情報」および「イベント情報」が記載されたメールを受信することが可能です。

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディジジョンテーブル作成
- ディジジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- ディジジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

**POINT**

\* のつく項目は入力必須です。

## 3.2 トークンの払い出し

### 新規トークンの払い出しを実施

- ① 「新規トークン払い出し」 ボタンを押下
- ② 「新規トークン払い出し」 画面で必要情報を入力
- ③ 「トークン払い出し」 ボタンを押下
- ④ 「トークン」 画面に表示されるトークンをコピーして保持する
- ⑤ 「閉じる」 ボタンを押下

項目	設定値
トークン名	(任意の文字列)
グループ別権限	システム管理者：権限あり

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し**
- ディビジョンテーブル作成
- ディビジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- ディビジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

#### POINT

トークンは後述する<curlコマンドによるリクエスト送信>時に使用するため設定が必要です。

## 3.3 ディジジョンテーブル作成 (1/2)

### ディジジョンテーブル（「基本情報・権限」）を作成

- ① 「ディジジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下
- ② 「新規追加」画面の「基本情報・権限」タブに必要情報を入力
- ③ 「条件式の設定へ」ボタンを押下



2 以下の値を入力する

「基本情報・権限」タブ	
項目	設定値
ディジジョンテーブル名	(任意の文字列)
権限の設定	システム管理者：全て「更新可能」

#### POINT

「権限の設定」では最低でも1グループは必ず「更新可能」を設定してください。ディジジョンテーブルの更新ができなくなります。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディジジョンテーブル作成

ディジジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

ディジジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

#### POINT

\* のつく項目は入力必須です。

### 3.3 ディジジョンテーブル作成 (2/2)

#### ディジジョンテーブル（「条件式」・「未知事象通知」）を作成

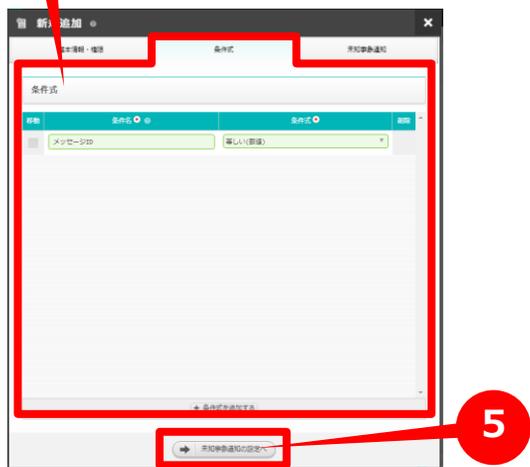
- ④ 「新規追加」画面の「条件式」タブに必要な情報を入力
- ⑤ 「未知事象通知の設定へ」ボタンを押下
- ⑥ 「新規追加」画面の「未知事象通知」タブに必要な情報を入力
- ⑦ 「保存」ボタンを押下

「条件式」タブ	
項目	設定値
条件名	(任意の文字列)
条件式	プルダウン選択

4 上記の値を入力する

「未知事象通知」タブ	
項目	設定値
未知事象通知	「通知しない」を選択

6 上記の値を入力する



#### POINT

設定した条件式には、後述するディジジョンテーブルファイルの「条件部」で具体値を設定します。

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
トークンの払い出し
<b>ディジジョンテーブル作成</b>
ディジジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
ディジジョンテーブルファイルのアップロード
テストリクエスト
プロダクション適用
curlコマンドによるリクエスト送信
アクション実行結果の確認

#### POINT

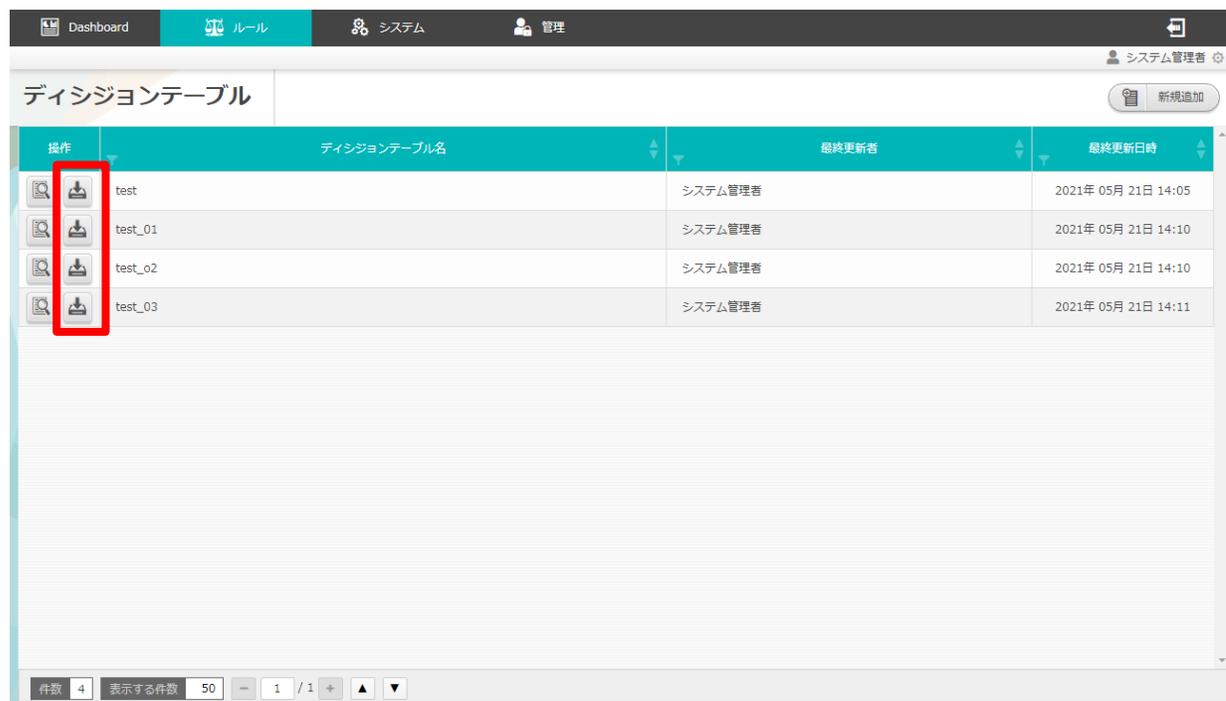
\* のつく項目は入力必須です。

## 4. 作業実行

## 4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作(1/2)

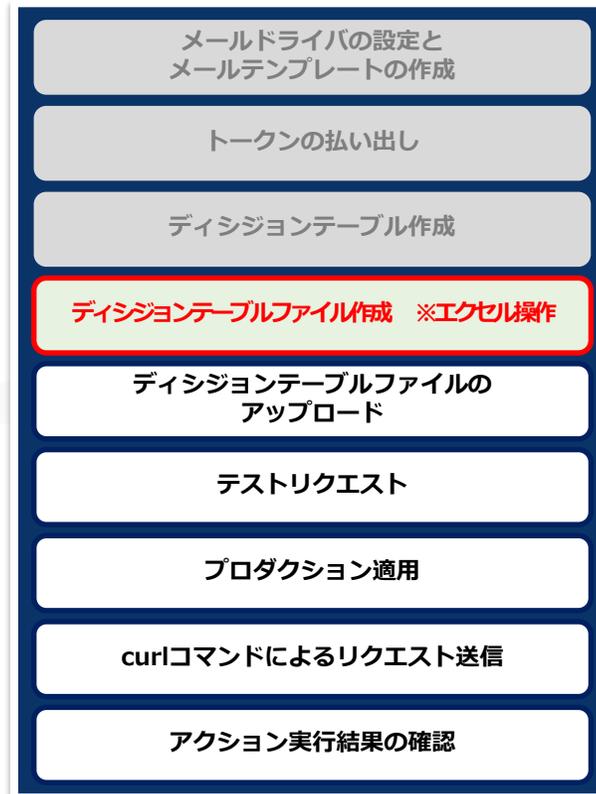
### ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 前述の<[3.3 ディシジョンテーブル作成](#)>で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。



操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test	システム管理者	2021年 05月 21日 14:05
	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

Exastro Operation Autonomy Support Engine



- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブル作成
- ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作**
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

### POINT

ディシジョンテーブルファイルの名前は自動生成されます（例「id000000000000.xlsx」）。  
先述の「ディシジョンテーブル名」とは異なります。各項目の記述内容については次のページで説明します。

# 4.1 ディジジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作(2/2)

## ディジジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディジジョンテーブルファイルの記述例は後述の<[A 付録 サンプル1](#)>を参照

①	②				③													④	
ルール説明	メッセージID (等しい場合)	ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報(必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可	アクション実行前パラメータ情報(必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可 ※不要の場合は「X」を定義	リトライ回数	停止間隔	停止回数	条件数	大グループ (必須)	小グループ (必須)	有効日	無効日						
メッセージA	10001	ruleA	mail(ver1)	MAIL_NAME=oaasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=feat_template	X	1	1	0	0	X	X	X	X						
メッセージB	0	ruleB	mail(ver1)	MAIL_NAME=oaasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=feat_template	X	1	1	0	0	X	X	X	X						
メッセージC	555	ruleC	mail(ver1)	MAIL_NAME=oaasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=feat_template	X	1	1	0	0	X	X	X	X						

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディジジョンテーブル作成

ディジジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

ディジジョンテーブルファイルのアップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。</li> <li>アクションを実行してもよいが、事前承認メールを送る設定も可能。</li> <li>「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クイックスタートでは「mail Driver ver1」を指定)</li> <li>アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。</li> </ul>
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

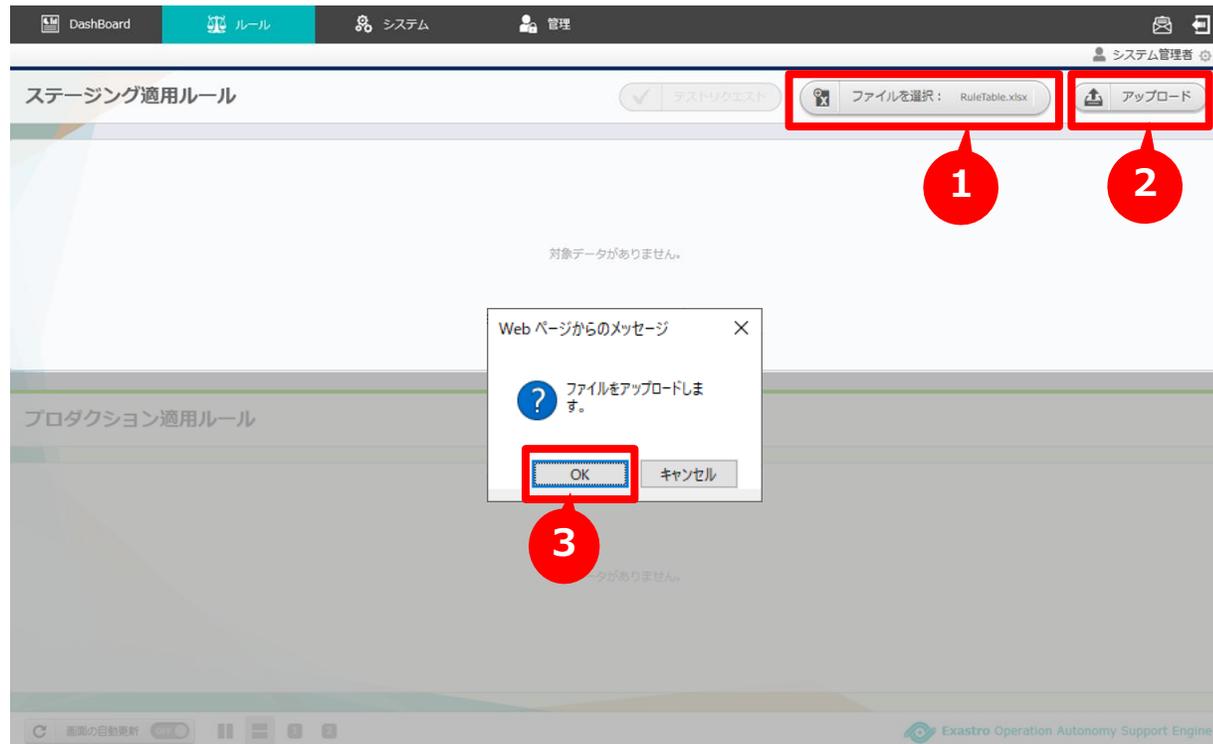
**POINT**

値の記述方法はディジジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。  
ディジジョンテーブルファイルの更新後、任意の名称にファイル名を変更することが可能です。

## 4.2 ディジジョンテーブルファイルのアップロード

### テストリクエストしたいディジジョンテーブルファイルを選ぶ

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押下し作成したディジジョンテーブルファイルを選択
- ② 「アップロード」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



## 4.3 テストリクエスト(1/3)

### テストリクエスト対象の選択

- ① 「作業ステータス」欄が「ステージング適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下
- ② 「ディシジョンテーブル」タブの「ディシジョンテーブル名選択」欄にて、テストしたいディシジョンテーブル名を選択
- ③ 「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下

The screenshot shows the 'Staging Rules' table with the following data:

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
<input type="checkbox"/>	test	mail_test.xlsx	未適用	ビルド中	システム管理者	2021年 05月 19日 14:52
<input type="checkbox"/>	test	test.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了		2021年 05月 19日 14:49

The 'Test Request' modal is open, showing the 'test' table selected in the 'ディシジョンテーブル名選択' field. The 'テストリクエスト設定へ' button is highlighted at the bottom.

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブル作成
- ディシジョンテーブルファイル作成 ※Excel操作
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト**
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

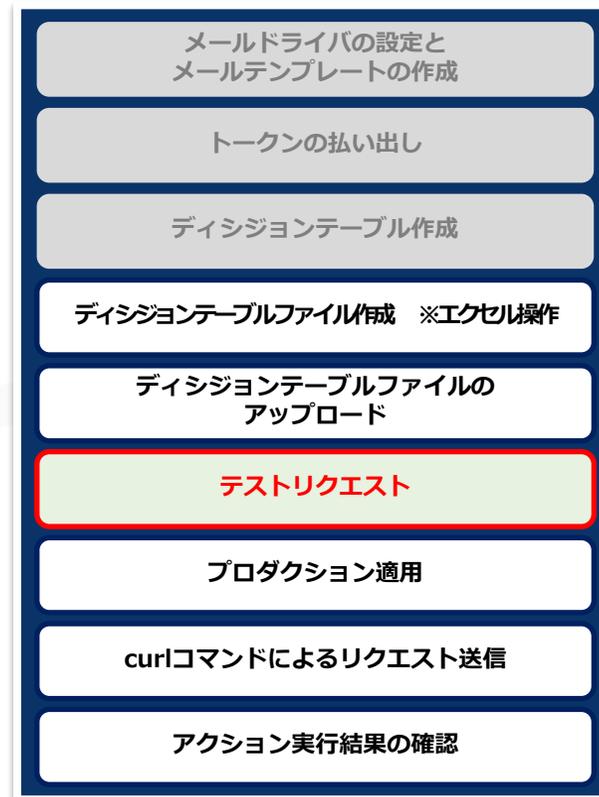
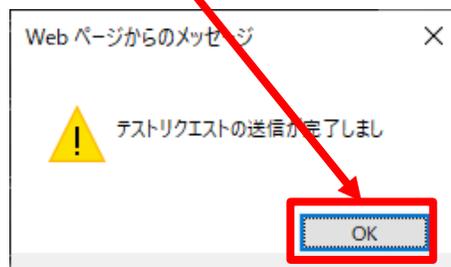
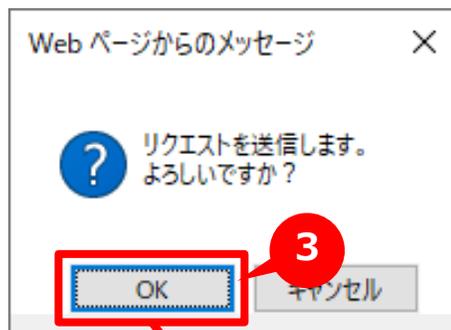
### POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。  
作業ステータスの遷移については<[利用手順マニュアル -ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)](#)>を参照ください。

## 4.3 テストリクエスト(2/3)

### テストで値を入れて実行する

- ① 「設定」タブ内にて「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力
- ② 「実行」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



#### POINT

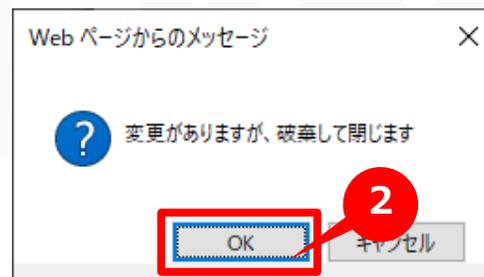
作成したディシジョンテーブルファイルの「条件部」に合致する値か否かテストします。

## 4.3 テストリクエスト(3/3)

### ルールが有効か確認する

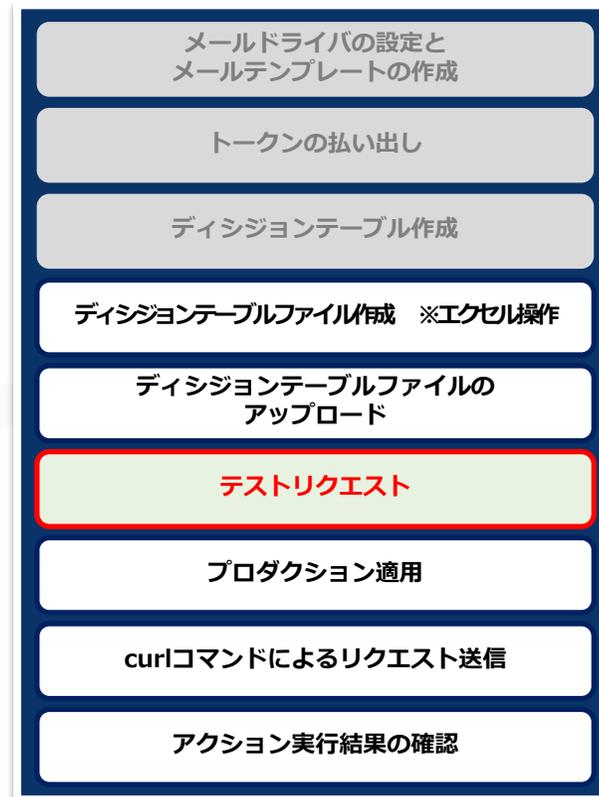
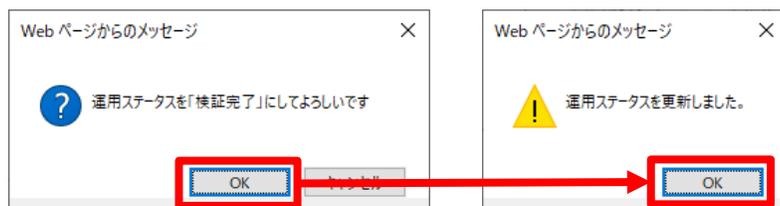
- 「ログ」タブの「実行ログ」欄にてログを確認

- ① 「閉じる」ボタンを押下
- ② ダイアログの「OK」ボタンを押下



- 正常に処理されルールがマッチングした場合

- ダイアログの「OK」ボタンを押下



### POINT

前述の<4.1 ディビジョンテーブルファイル作成>で作成したルールに合致する場合、「実行ログ」欄に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。  
ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

## 4.4 プロダクション適用

### 検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするため「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。

- ① 「ステージング適用ルール」の「運用ステータス」欄が「検証完了」に遷移していることを確認
- ② 「操作」欄の「適用ボタン」を押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下

1 テストリクエストが正常にルールマッチングされた場合「検証完了」と表示される

2

3 プロダクション環境の運用ステータスが「プロダクション適用完了」に遷移すると本番環境で使用が可能となる

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
トークンの払い出し
ディビジョンテーブル作成
ディビジョンテーブルファイル作成 ※Excel操作
ディビジョンテーブルファイルのアップロード
テストリクエスト
<b>プロダクション適用</b>
curlコマンドによるリクエスト送信
アクション実行結果の確認

#### POINT

作成した作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については<[利用手順マニュアル - ルール画面編 - \(2\)ルール画面\(プロダクション\)](#)>を参照ください。

## 4.5 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

### メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えただうえで実行する。

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>/oase_web/event/event/eventsrequest" ¥  
-H "accept: application/json" ¥  
-d '{"decisiontable":"<②ディシジョンテーブル名>","requesttype":"<③リクエスト種別>","eventdatetime":"<④イベント発生日時>","eventinfo":["<⑤イベント情報>"]}' ¥  
-H "Authorization: Bearer <⑥トークン>"
```

① <b>ホスト名</b>	OASEサーバのホスト名、IPアドレスを入力
② <b>ディシジョンテーブル名</b>	プロダクション適用済みのディシジョンテーブル名を入力
③ <b>リクエスト種別</b>	投入先「1:プロダクション」の「1」を入力 例) "requesttype":"1"
④ <b>イベント発生日時</b>	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) "eventdatetime":"2020/01/01 01:01:01"
⑤ <b>イベント情報</b>	リスト形式で指定 例) ["2","Event"]
⑥ <b>トークン</b>	「トークン払い出し」画面で払い出したトークンを入力

※curlコマンドの使用例は後述の<[A 付録 サンプル1](#)>を参照



#### POINT

HTTPSリクエストの詳細については <[RestAPI機能 利用マニュアル](#)>を参照してください。

## 4.5 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

### 「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
⚙️	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO":{"10001"}}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO":{"10001"}}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO":{"10001"}}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO":{"10001"}}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000000

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブル作成
- ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信**
- アクション実行結果の確認

※ 「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能

## 4.6 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

### アクション実行

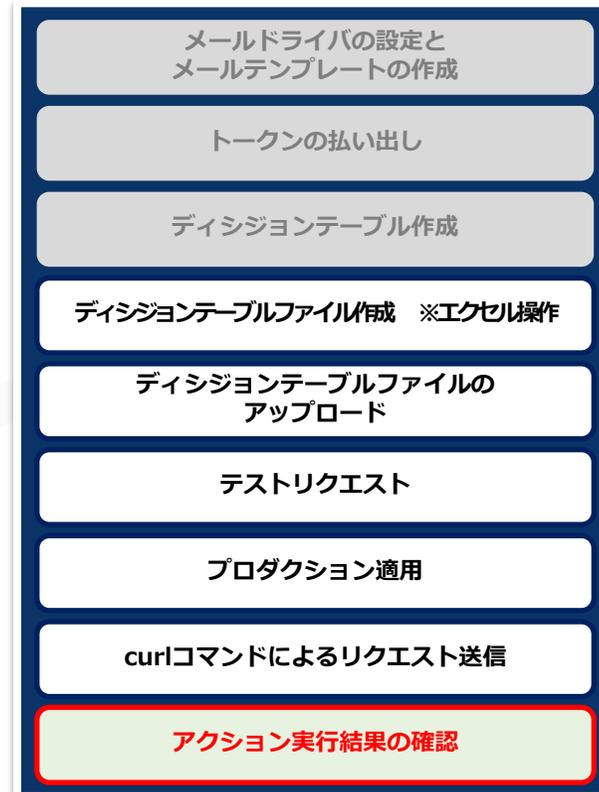
- ルールマッチした場合、事前設定で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- 前述した<[4.1 ディジジョンテーブルファイル作成](#)>のアクション部にて設定した内容でアクションが実行される（mail Driver で指定したとおりメールが通知される）。

### メール通知

- 前述した<[3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成](#)>で設定した件名・本文のメールが届く。

### アクション履歴

- ルールマッチングし実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。



状態	操作	ディジジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバプロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバプロセス
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバプロセス

# A 付録

## サンプル値を入力しOASEを実行する

- 「メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時、「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という内容のメールが送信されるアクションを実行させたい

### 【事前設定】

#### ① 「アクション設定」画面

- 「mail Driver ver1」を用意する

名前	oasetest
SMTPサーバ	X.X.X.X
ユーザ名	sample@example.com
パスワード	(空白)

(他、必要情報を登録)

- 「メールテンプレート」を作成する

テンプレート名	test_template
件名	【OASE】通知テスト
本文	[ACTION_INFO] [EVENT_INFO]

#### ② 「トークン払い出し」画面

- curlコマンドによるリクエスト送信時に必要なトークンを用意する

トークン名	test_token
-------	------------

(他、必要情報を登録)

### POINT

本書内<[3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成](#)>および<[3.2 トークンの払い出し](#)>の範囲です。

## ③ 「ディシジョンテーブル」画面

- 「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

ディシジョンテーブル名	test
権限の設定 (システム管理者)	全て「更新可能」
条件名	メッセージID
条件式	等しい(数値)

## POINT

本書内<[3.3 ディシジョンテーブル作成](#)>および<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作](#)>の範囲です。

## ④ ディシジョンテーブルファイル

- ディシジョンテーブルファイルをリネームして保存する

ファイル名	mail_test.xlsx
-------	----------------

- 「メッセージID : 10001」がヒットするルールを作成する **※赤字箇所はご変更ください。**

メッセージID (等しい(数値))	10001
アクション種別	mail(ver1)
アクションパラメータ情報	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=<受信可能なメールアドレス>,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template

(他、ディシジョンテーブルファイルの「シート：記述例」を参考に必要情報を登録)

## ⑤ 「ルール（ステージング適用ルール）」画面

- 作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

ファイルを選択

mail\_test.xlsx

## POINT

本書内<[4.2 ディシジョンテーブルファイルのアップロード](#)>  
および<[4.3 テストリクエスト](#)>の範囲です。

## ⑥ 「テストリクエスト」画面

- アップロードしたディシジョンテーブルファイルにリクエスト「メッセージID : 10001」が来た場合、ルールがマッチングするかテストする

ディシジョンテーブル名選択

test

メッセージID

10001

## 【作業実行】

### ⑦ ターミナル操作 (Linuxサーバ)

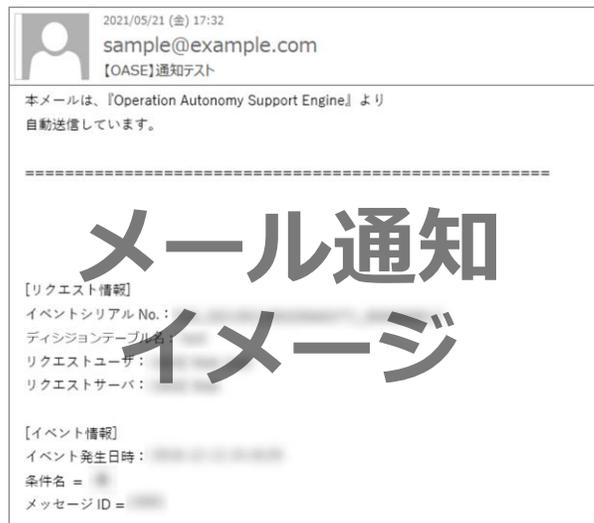
- 用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる **※赤字箇所はご変更ください。**

```
curl -X POST -k "https://<Hostname>/oase_web/event/event/eventsrequest" ¥  
-H "accept: application/json" -H "Authorization: Bearer <Access_Token>" ¥  
-d '{"decisiontable":"test","requesttype":"1","eventdatetime":"2020/01/01 01:01:01","eventinfo":["10001"]}'
```

### ⑧ メール通知

右記情報の  
メールが  
届いたことを  
確認する

件名	【OASE通知テスト】
本文	[リクエスト情報] トレースID ディシジョンテーブル名 リクエストユーザ リクエストサーバ
	[イベント情報] イベント発生日時 条件名 メッセージID



## POINT

本書内<[4.5 curlコマンドによるリクエスト送信](#)>および  
<[4.6 アクション実行結果 \(アクション履歴\) の確認](#)>  
の範囲です。



**Exastro**